

ファイル転送の高速化を実現する
クライアント・ソフトウェア

HSFT[®]
HUGE & SECURE FILE TRANSFER



Performance

大容量ファイル
(100GB~TB order)
のファイル転送には
大幅な時間がかかる...

Costs

- ✓ 高速化システム
導入コスト
- ✓ 高額な設備
設置コスト
- ✓ 運用コスト
→更新、故障など
- ✓ 拠点拡張コスト

Risk

- 輸送リスク (物理輸送)
- 盗難・破損・紛失など
 - 運搬時間・
運搬コストの発生



HSFT なら...

- ▶ “手間なく”
 - ▶ “低コスト”
 - ▶ “輸送リスク軽減”
 - ▶ “転送時間の大幅削減”
- を実現します！！





製品特徴



HSFT HUGE & SECURE FILE TRANSFER 3つの特徴

転送元のみの簡単導入！

大容量データ対応！

セキュアな
データハンドリング！

① インストーラーをダウンロード
弊社HPもしくはメディアでのお渡し



製品HPスクリーン

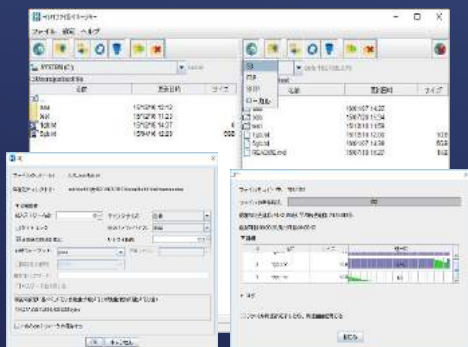


② インストーラーを起動して
ソフトウェアをインストール

専用線 / 専用プロトコルは
一切必要ありません。

③ ソフトウェアを起動して **HSFT** 転送開始！
HUGE & SECURE FILE TRANSFER

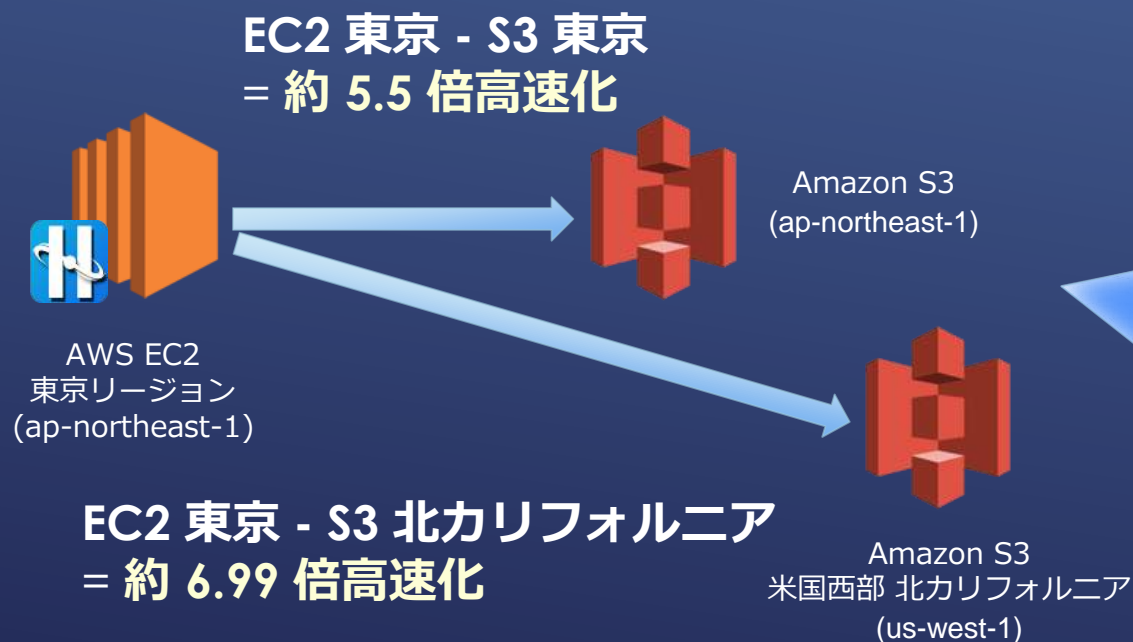
GUI はドラッグ&ドロップの簡単操作で
転送を開始できます。



GUI 転送スクリーン

HSFT をインストールしたAmazon EC2 Tokyo から
S3 へ単一の大容量ファイル (5GB) のファイルをアップロードを実行

⇒コンピュータリソースに応じてCPU コアを効率活用した転送を行います。
(特許第5996691号)



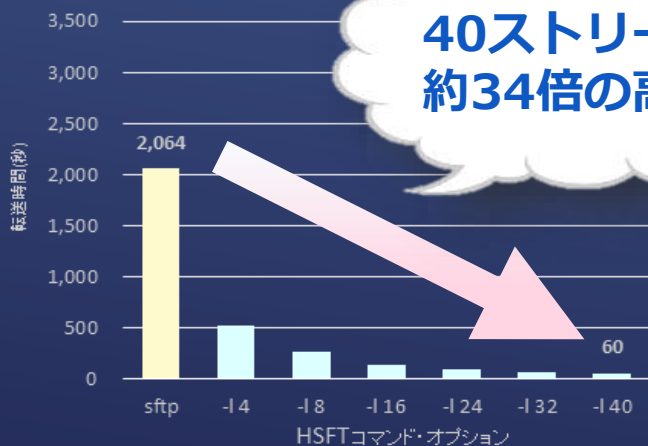
HSFT の圧縮転送機能を利用すれば、
海外との長距離転送でも
大幅な高速化が可能！

マルチファイル・マルチストリーム機能より
 複数の小さなファイルの転送にも対応しています。



100KB×5000個の複数ファイル転送を実行

アップロード時間



40ストリーム時
 約34倍の高速化

ひとつのチャンクの転送を待たずに、
 次のチャンクの転送を行うため、
 ファイルが複数存在するほど
 高速化を実感できます。

転送中の通信切断時への対処

レジューム機能により、中断した時点から転送を再開。
プロトコルレベル / チャンク単位 / ファイル全体で自動送信を行います。

セキュアな転送

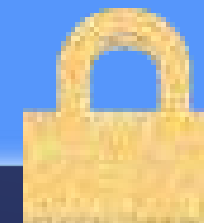
- SSH/SFTP: RFCに準拠したSSHプロトコル対応の暗号化
- S3 API: HTTPS によるセキュアな通信
- FTPS: SSL/TLS方式のハイブリッド暗号方式

お使いの

“セキュリティに強いプロトコル”

も特別な設定を必要とせずに、

そのまま利用できます。





動作環境



クライアント動作環境

Java Runtime Environment(JRE)7.0 以降

- Oracle JRE
- OpenJDK
- IBM JRE/SDK

OS 環境

- Microsoft Windows
- Linux
- Apple Mac OS X
- IBM AIX

サーバー動作環境

OS環境

- Red Hat Enterprise Linux 5 以降
- CentOS 5 以降
- Ubuntu LTS 12.04 以降
- Amazon Linux AMI 2011.09 以降
- Windows Server 2008 以降

規格

RFCに準拠したSFTP(SSH), FTP(s) プロトコル対応

RFC 4250, RFC 4251, RFC 4252, RFC 4253, RFC 4254, RFC 4256,
RFC 4344, RFC 4217

AES 128~256bit 暗号化技術対応

パスワード認証、公開鍵認証対応